

NPO 法人才の木トークカフェ

木材のバイオマス活用再考

—発電だけでなく熱利用をメインに—

FIT制度を利用して、全国各地にバイオマス発電所が建設され、今なお工事が続いています。林地残材や間伐材の利用などが謳われて建設が進みましたが、予想に反して恒常的な燃料調達が出来ない問題が発生しているほか、海外からのPKSなど農産廃棄物の輸入が進むなど予想に反した動きもみられます。

また太陽光電池の低コスト化が進み、当初のビジネスモデルが崩壊した結果、木質バイオマス発電の損益収支計算にまで影響が出ています。

森林資源国である日本では、里山の木材は住生活におけるメイン燃料として活用されてきました。近代になって石油系燃料などの化石燃料が普及して以来、

その地位は急速に低下しましたが、木材は再生できる自然由来の燃料として見直されています。

発電だけでない木材のバイオマス利用事例を紹介し、コーヒーを飲みながらみなさまと話し合いたいと思います。

日時：平成30年6月2日(土)
14:30～17:30 (受付14:15)
(東京メトロ南北線 東大前駅 下車 徒歩1分)

場所：東京大学 弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

主催：NPO 法人才の木

後援：一般社団法人日本木材学会

会費：無料 *どなたでも参加できます。

参加方法：事前の申込は不要です。直接会場にお越し下さい。
但し、人数把握のため、氏名、連絡先(勤務先)を明記し、
電子メール(info@sainoki.org)を頂けると幸いです。

内容

開会挨拶 NPO 法人才の木理事長 竹村彰夫

14:35～ 木質資源の「もったいない」をなくしたい
日本ノボパン工業(株) 洲上尚史氏

15:05～ 久慈発! 木質バイオマス熱エネルギーの面的利用で産業振興
久慈バイオマスエネルギー(株)・オの木理事 日當和孝氏

15:35～ コーヒーブレイク

15:50～ トークセッション

司会・進行 NPO法人才の木理事 梅咲直照



オの木はトークカフェのような時代を先取る事業をこれからも提案し続けるつもりです。
この機会に、2015年から発刊しておりますメルマガ(無料)を
<http://www.sainoki.org/>から購読しませんか。